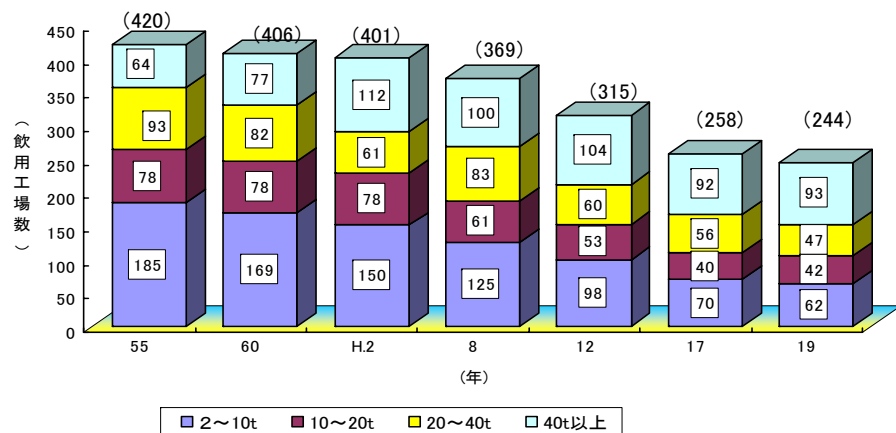


5 乳業工場の再編・整備

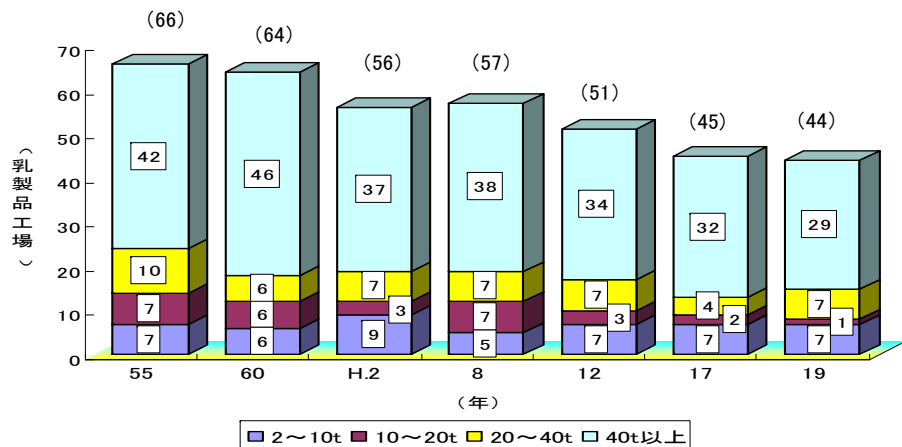
○ 乳業をめぐる情勢について

- ・ 我が国の乳業は酪農とともに発展し、食品産業の重要な一部門として地位を確立。平成19年の製造出荷額は2兆2400億円で食料品製造業出荷額の約1割。
- ・ 一方、飲用牛乳工場数は減少傾向で推移。平成19年末では、ピーク時の昭和55年より42%減少して244工場。
- ・ 乳業の収益性は、食品製造業平均より低い傾向。特に中小・農協系乳業の中には、ほとんど利益がでない厳しい経営も見られるところ。

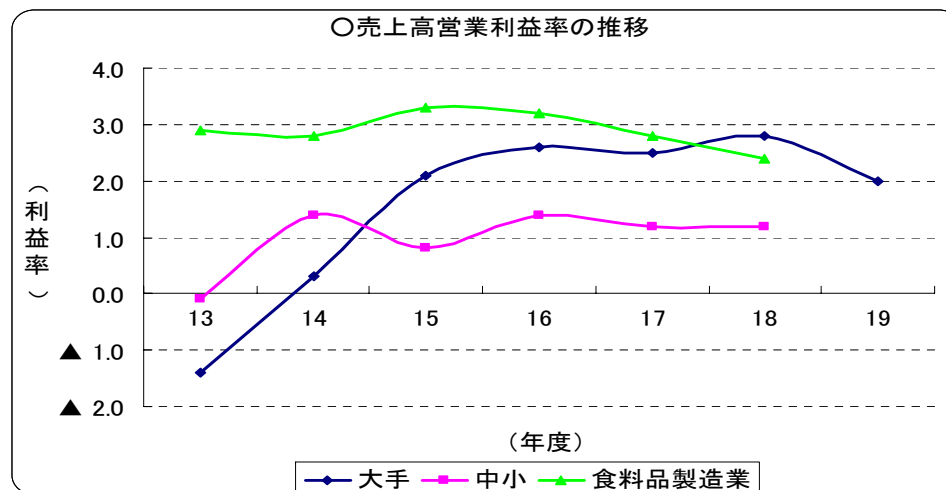
○ 生乳処理規模別飲用牛乳工場数の推移



○ 生乳処理規模別乳製品工場数の推移

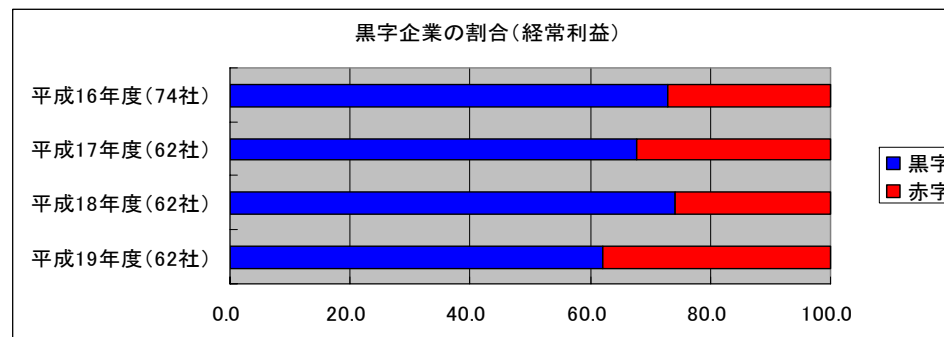


○ 売上高営業利益率の推移



資料：乳業再編全国協議会

○ 中小乳業の損益動向

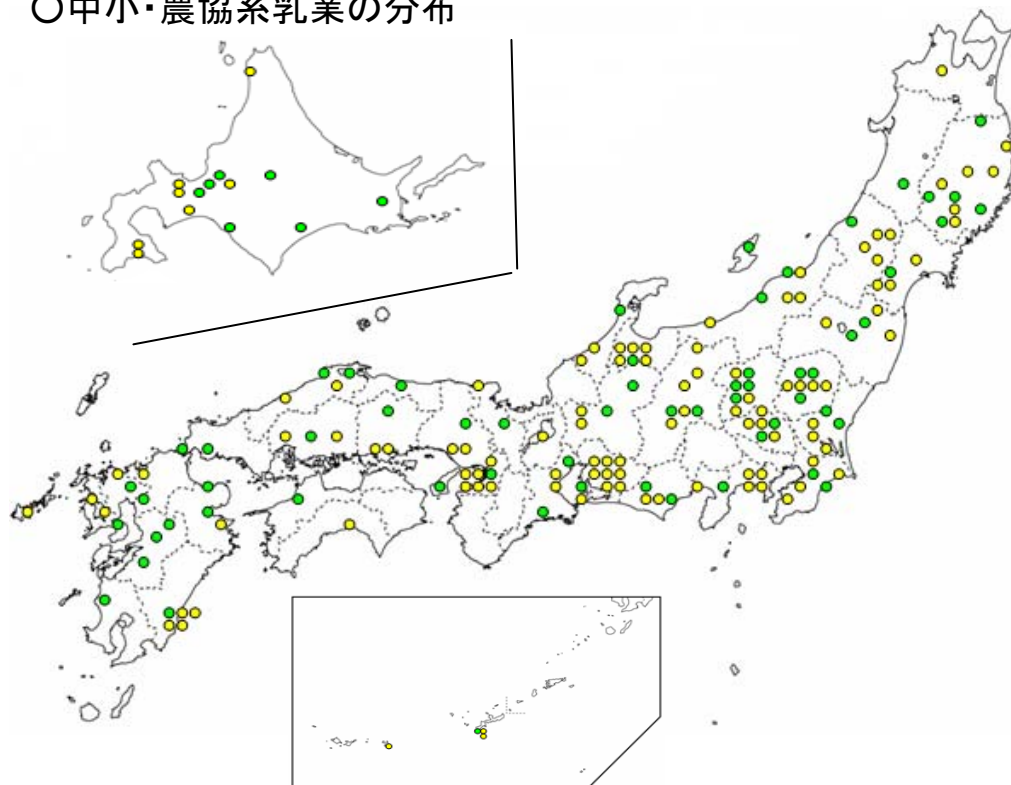


資料：全国乳業協同組合連合会

○ 中小・農協系乳業の状況について

- ・ 中小・農協系乳業は、一部では付加価値で購買意欲を高める取組を行っているが、一般に商品開発力が弱いため、低い価格で受注して生産量を引き上げ、売上げの確保を図らざるを得ないケースも多く、流通に対する交渉力が弱いこともあり、ほとんど利益が出ない場合もある模様。
- ・ この結果、全体的にみれば、より効率的で高度な衛生水準の設備への投資が遅れており、将来的には、安定的な牛乳の供給に懸念。

○ 中小・農協系乳業の分布



- 農協系乳業(酪農協、総合農協、出資会社を含む。) 68
- その他中小乳業(大手子会社を除く。) 108

※牛乳を製造する中小・農協系の乳業工場で製造日量2トン以上のもの。複数の工場がある場合には、本社工場(又は本社事務所)の所在地。

消費減少の中での中小乳業の状況

大半は低価格供給でぎりぎり売上高を確保している状況

- 設備投資が遅れ、古い設備をメンテナンスしながら使用する傾向

→ この結果、中小・農協系の場合、HACCPの取得率が低い

- 依然として稼働率が低い傾向

※ 茶系飲料PBの受注等で収入確保の取組も。

HACCP導入工場

- 大手3社・・・91%が取得
- 大手3社以外・・・57%が取得

飲用牛乳工場の稼働率

※ 施設洗浄時間を除き1日6時間を100%として計算。

- 大手3社・・・平均66.6%
 - 大手3社以外・・・平均46.7%
- 稼働率が30%未満・・・69工場

○ 中小・農協系乳業の再編整備の強化について

- ・ 乳業の再編については、工場の統合に伴う新增設や工場の廃止に要する費用に対する補助を平成8年度から実施。また、補助残については日本政策金融公庫の乳業施設資金(利率2.05%、H21.4.20現在)を用意。
- ・ 飲用牛乳工場の再編は、平成8年度以降30件実施。
- ・ 依然として多数の小規模乳業が集中する地域もあり、一層の工場再編が必要。

乳業再編整備等対策事業の拡充

【事業の概要】

- ① 3以上の乳業工場の再編に伴う施設の新増設費用の助成(補助率1/3以内)
- ② 乳業工場の廃止費用の助成(施設撤去、従業員の退職金等。補助率1/3以内)

【拡充内容】

- ① 都道府県の区域を越えた広域的な再編統合を行うものであって、再編後の生乳処理量が地域の処理量の一定水準を超える規模である場合には工場の新増設の要件を緩和
 - ・新設の場合の廃止工場数:3→2工場
 - ・増設の場合の廃止工場数:2→1工場
- ② 広域的又は大規模な再編を行う場合、工場の廃止における補助限度額を引上げ

【平成21年度予算額】 46(41)億円

中小・農協系乳業の再編事例

- 平成14～15年度に大山乳業農協(鳥取県)が県内の中小乳業2社と再編を実施。中小乳業2社と大山乳業農協の3工場を廃止し、大山乳業農協の本社工場を増設。
- 平成8年度に秋田県内の中小乳業2社と農協系乳業1社が再編を実施。3社の3工場を廃止し、新たに秋田県農協乳業の工場を新設。

○乳業再編整備に向けた関係団体の取組

(社)日本乳業協会


- ・乳業再編推進の手引き作成、乳業再編に向けた課題解決手法の取りまとめ

(社)全国農協乳業協会

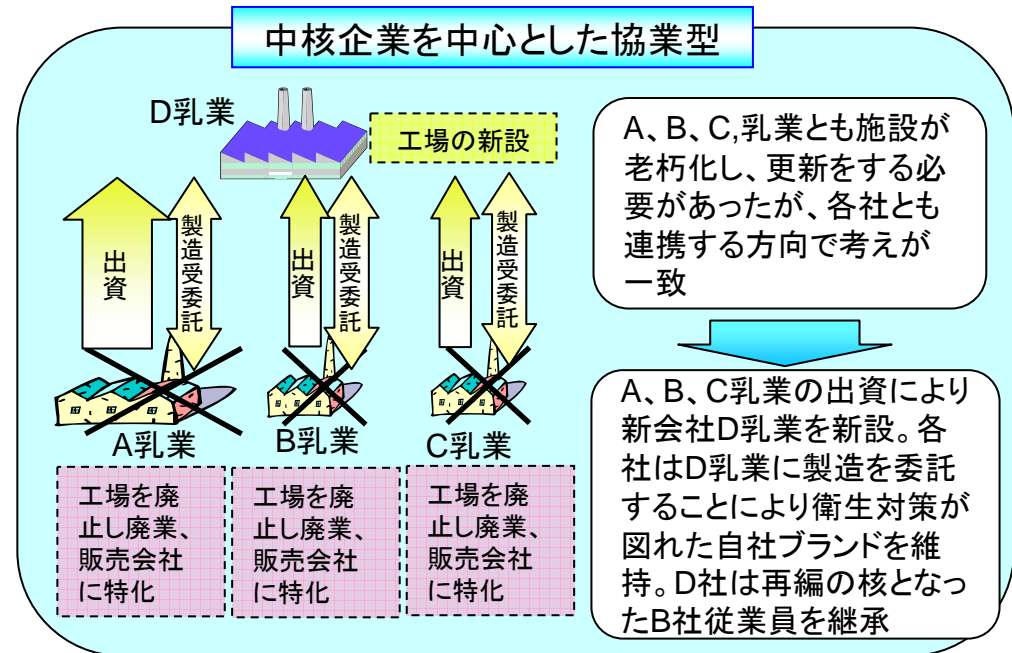
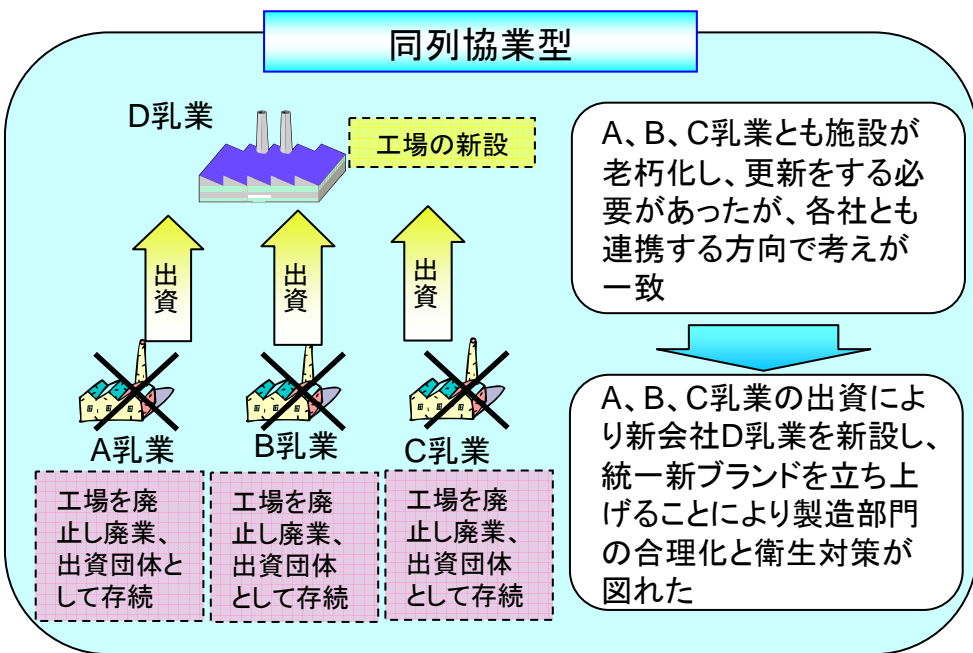
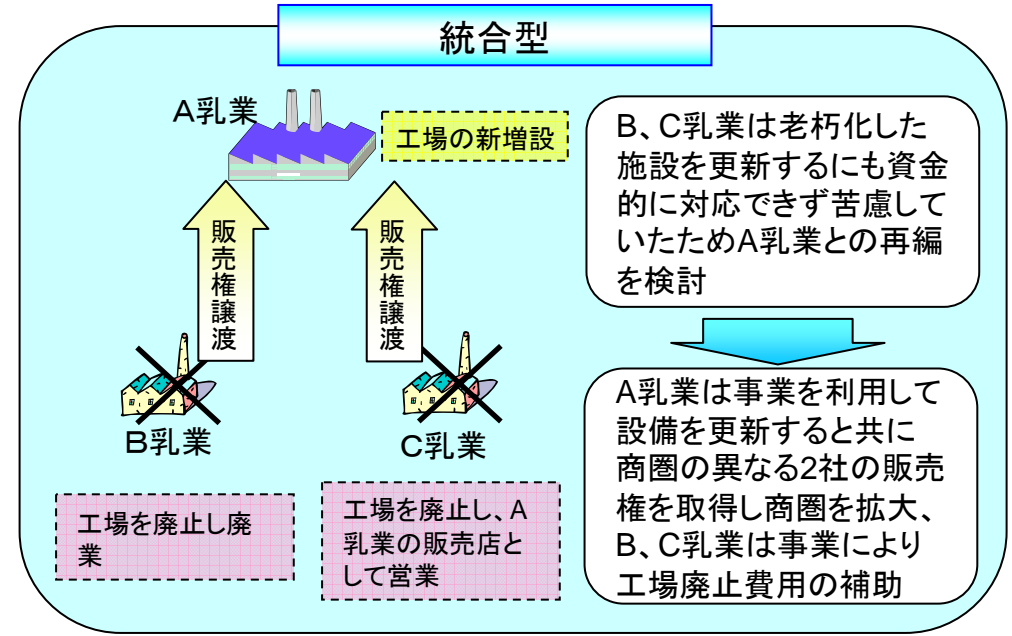
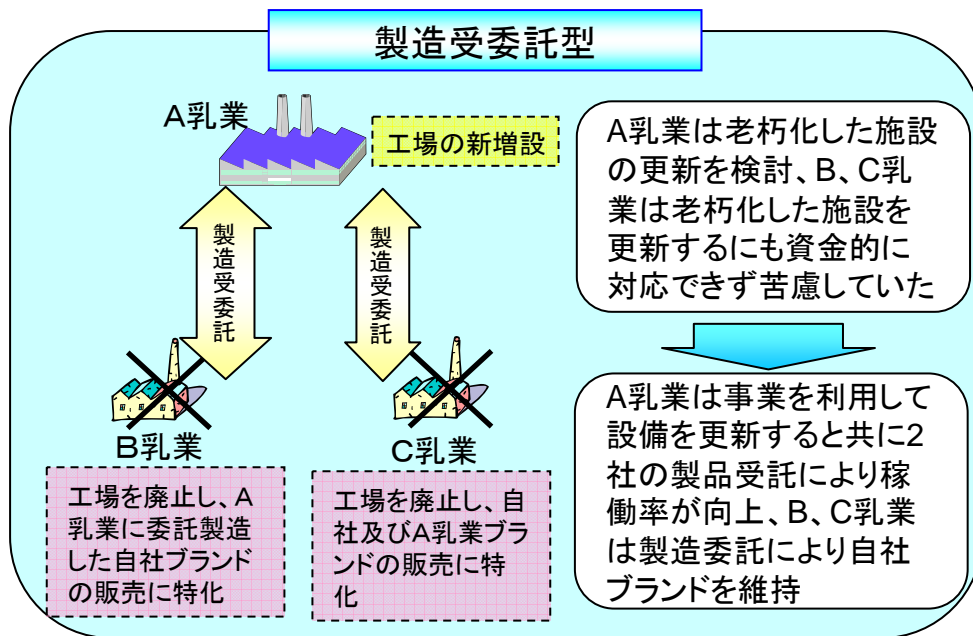
- ・基本問題検討委員会において農協系乳業の組織再編を検討、乳業再編に関する相談窓口の設置

全国乳業協同組合連合会

- ・ブロックごとに会議を開催し、乳業再編事業の内容等の紹介・乳業再編に向けた情報交換を実施

 地域の関係者により、地域の乳業の経営状況の分析等を行うなど、状況に応じた乳業再編整備のための体制整備を強化

○ 乳業再編の実施例



○ 乳業再編による生産性向上の事例

〈事例1〉

- ・A協同組合(12年度操業開始:飲用牛乳工場)
- ・7事業者の6工場を廃止し、組合方式により新工場を建設

①再編実施後の労働生産性の向上

(単位:トン/人・年)

再編前	14年度	向上率
484	→ 1,100	227%

②生乳処理量の増加

(単位:トン)

再編前	14年度実績	増加率
36,792	→ 49,767	135%

〈事例2〉

- ・B株式会社(13年度操業開始:飲用牛乳工場)
- ・3事業者の5工場を廃止し、株式会社方式により新工場を建設

①再編実施後の労働生産性の向上

(単位:トン/人・年)

再編前	14年度	向上率
253	→ 722	285%

②生乳処理量の増加

(単位:トン)

再編前	14年度実績	増加率
16,897	→ 21,445	127%

〈事例3〉

- ・C株式会社(15年度操業開始:飲用牛乳工場)
- ・3事業者の2工場を廃止し、既存の工場を増設

①再編実施後の労働生産性の向上

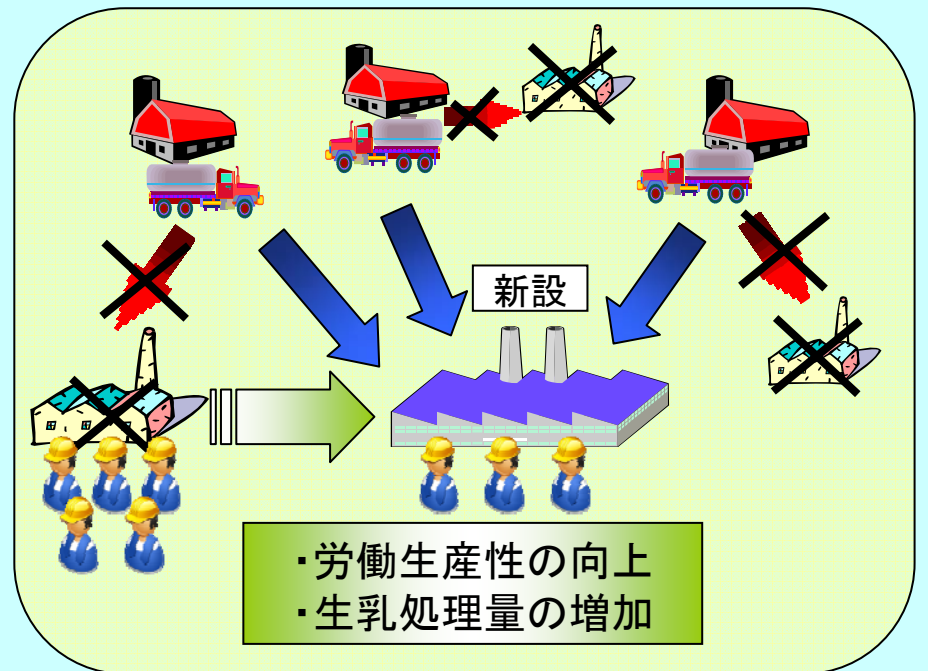
(単位:トン/人・年)

再編前	17年度	向上率
845	→ 1,225	145%

②生乳処理量の増加

(単位:トン)

再編前	18年度実績	増加率
27,887	→ 30,749	110%



○ 乳業における衛生・環境水準の向上の取組

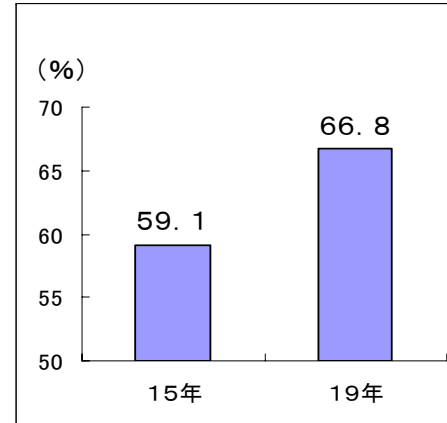
○製造・流通段階における衛生品質管理の高度化

HACCPの概要

Hazard Analysis and Critical Control Point

・通常の衛生管理として行われている製造環境の整備や衛生の確保に加え、原料の入荷から製造・出荷までの全ての工程において、あらかじめ危害を予測し、その危害を防止するための重要管理点を特定して、そのポイントを継続的に監視・記録する衛生管理手法。

○牛乳処理施設におけるHACCP認証状況



○主な取組内容

(牛乳乳製品消費拡大特別事業)

衛生管理、品質管理に関する講習会の開催

(H19実績 21回 823人)

- ・乳業施設における一般衛生管理
- ・品質事故等、事例紹介 等

官能評価技術の習得に関する講習会の開催

(H19実績 5回 114人)

- ・基本味覚、異常味覚識別訓練
- ・統計処理に関する講習

○低CO₂排出技術の導入

主な取組事例

○低CO₂排出殺菌技術

・乳業工場において必要不可欠である殺菌工程は、エネルギーを多く使用し、CO₂排出量の大きい設備を必要とするが、製品同士の熱交換による再生熱を利用することにより改善。

○バイオマス熱エネルギーの利用

・廃棄物である動植物残渣のメタンガス発酵を利用した熱をボイラーに利用。

○排水を利用した発電技術

・放流する使用後の排水を水力発電に利用して電力を供給。